

## 平成 29 年度 公共事業評価について

平成30年（2018年）2月7日  
 長野県公共事業再評価委員会  
 担当：建設部建設政策課技術管理室  
 （室長）猿田吉秀  
 （担当）増澤邦彦 加藤憲一 本藤美歩  
 電話：026-232-0111（代表）内線3328  
 026-235-7294（直通）  
 F A X：026-235-7482  
 E-mail：gijukan@pref.nagano.lg.jp

## 平成 29 年度公共事業再評価の対応方針について

平成 29 年度公共事業再評価の対象となった 4 事業 5 箇所について、県の対応方針を以下のとおりとします。

## 1 長野県公共事業評価監視委員会の意見

公共事業評価監視委員会（委員長：永藤壽宮氏）に意見を求めた再評価対象に関して、同委員会から県の再評価案を「妥当」とする意見の具申がありました。

経緯等 平成 29 年 7 月 20 日 第 1 回長野県公共事業再評価委員会（再評価案作成）  
 平成 29 年 8 月 10 日 公共事業評価監視委員会（審議 4 回、現地調査 2 回）  
 ～12 月 8 日  
 平成 30 年 1 月 17 日 公共事業評価監視委員会から意見具申

## 2 県の対応方針

公共事業再評価対象に対する県の対応方針は、公共事業評価監視委員会の意見を踏まえ、以下のとおりとします。

平成 29 年度 公共事業再評価対象箇所一覧及び対応方針

担当 部局	分野	再評価 理由	事業名	路河川名等	箇所名 (市町村名)	採択 年度	現行計画		県の再評価案		評価 監視 委員会 意見	県の 対応 方針
							総事業費 (百万円)	H29末 事業 進捗率 (%)	県方針 (案)	コスト 縮減額 (百万円)		
建設部	道路	10年経過	社会資本整備 総合交付金 (道路)	一般国道256号	漆畑拡幅 (南木曾町)	H20	2,200	84.8%	継続	-	県案 どおり	継続
		10年経過	防災・安全交付金 (道路)	主要地方道 長野真田線	松代 (長野市)	H20	3,150	65.1%	継続	-	県案 どおり	継続
		10年経過	防災・安全交付金 (道路)	主要地方道 丸子信州新線	大岡 (長野市)	H20	1,100	70.5%	継続	-	県案 どおり	継続
	砂防	5年未着工	通常砂防	(砂)段ノ原沢	小松原 (長野市)	H21	180	11.2%	継続	-	県案 どおり	継続
林務部	地すべり	10年経過	地すべり防止	(地)長久保	長久保 (安曇野市)	H20	1,623	66.4%	継続	-	県案 どおり	継続
合 計					5箇所		8,253					

注) 網掛け：詳細審議箇所

事業の進捗状況、事業を巡る社会経済情勢等の変化等の視点から、「継続」「見直して継続」「計画変更」「一時休止」「中止」の5段階で評価

### 3 県案が妥当とされた判断理由・審議上の意見

#### (1) 防災・安全交付金（道路） 主要地方道長野真田線 松代（長野市）

- 当該事業区間は、長野地域と上田地域を結ぶ震災対策緊急輸送路でありながら、狭隘な幅員と線形不良により、恒常的な渋滞や交通事故も頻発しているため、地域住民の安全・安心を確保するためにも整備が必要と判断できる。
- 当該事業の平成 29 年度末における用地取得率は 100%であり、住民の理解が進んでいる。
- 整備により、松代中心市街地の交通渋滞の緩和と安全な通行の確保が図られる。
- ◇ 松代は町中の通過車両が時間帯によって多く、町並み景観保護にも支障がある。伝統的な建築も多くあり、当該事業が完成すると交通の分散が図られ、松代らしい雰囲気のあるまちづくりの一助になるのではないかとと思われる。早期の供用が望ましい。



現道の状況



整備済区間（部分供用）

#### (2) 通常砂防事業（砂）段ノ原沢 小松原（長野市）

- 当該事業により保全する土砂災害特別警戒区域内には、災害時要配慮者利用施設が存在しており、人命を守るためにも整備が必要と判断される。
- 事業着手における課題であった砂防指定地内行為許可違反等についても解決され、地域住民及び関係者の同意が得られている。
- 近年多発する土砂災害において、防災効果を発揮した事例が多く報告されている砂防施設の整備は、災害に対する地域の安全、安心を確保するうえで必要なものである。
- ◇ 現計画の堰堤は不透過型であるが、流木対策を考える場合、透過型の効果が高い。本年度5月に発生した飯山市の土石流では、透過型の堰堤が流木、巨石を受け止め、防災効果を発揮した。実施にあたっては、上流の状況などを加味しつつ、構造について検討されたい。



平成 30 年(2018 年) 2 月 7 日  
 担当：建設部建設政策課技術管理室  
 (室長) 猿田吉秀  
 (担当) 増澤邦彦 加藤憲一 本藤美歩  
 電話：026-232-0111 (代表) 内線 3328  
 026-235-7294 (直通)  
 FAX：026-235-7482  
 E-mail：gijukan@pref.nagano.lg.jp

## 平成 29 年度 公共事業の新規評価結果について

公共事業の一層の効率化、重点化を図るとともに、その実施過程の透明性を高めるため、長野県公共事業評価監視委員会による第三者評価を実施しました。

審議の結果については、次のとおりです。

### 1 評価対象事業箇所

評価対象は、県が事業主体となって、平成 30 年度に新たに着手しようとする公共事業のうち、総事業費が 10 億円以上の 9 箇所としました。

### 2 新規評価の審議結果

県が新規評価を実施した 9 箇所の中から 4 箇所を抽出し、詳細審議を行った結果、必要性、重要性、緊急性などをまとめた 県の自己評価は妥当 とのご意見をいただきました。

#### 平成 29 年度 公共事業新規評価実施箇所一覧

単位：千円

事業種類	事業名	市町村名	路河川名等	事業概要	工期	全体事業費	担当課	県の自己評価	評価監視委員会意見
農村地域の防災・減災	県営農村地域防災減災	佐久市	こうさか香坂ダム	放流設備補修 一式 (放流塔N=1箇所、ゲートN=4門) 管理施設補修 一式 (管理棟N=1棟、管理機器一式) 余水吐補修 N=1 箇所	H30～H35	1,217,000	農地整備課	A	妥当
河川の整備等	河川	佐久穂町	きたざわがわ(一)北沢川 たかのまちあいの川 高野町相生	河道拡幅工 L=960m	H30～H38	1,027,000	河川課	B	妥当
	河川	長野市	あさかわ(一)浅川 とよのさんねんざわ 豊野(三念沢) かめこまざわこまざわがわ 上駒沢(駒沢川) ふるさとしんでんがわ 古里(新田川)	河道拡幅工 三念沢 L=680m 駒沢川 L=1,600m 新田川 L=1,080m	H30～H48	2,500,000	河川課	A	妥当
	河川	長野市	おかだがわ(一)岡田川 しののい 篠ノ井	河道拡幅工 L=2,450m 排水機場 N=1箇所	H30～H48	4,000,000	河川課	A	妥当
主要な道路の整備	道路改築	長野市	(国)403号 いわの岩野	道路築造 L=700m W=6.5(13.0～16.0)m	H30～H37	1,150,000	道路建設課	A	妥当
	道路改築	飯田市	いいたとみやま くません (主)飯田富山佐久間線 ちくだいらみなばら 知久平～南原	道路築造 L=900m W=6.0(9.75)m	H30～H37	1,600,000	道路建設課	A	妥当
補完的な道路の整備	街路	伊那市	かんじょうきたせん (都)環状北線 やまでら ちゅうおう 山寺～中央	道路築造 L=610m W=7.0(16.0)m	H30～H38	3,400,000	都市・まちづくり課	A	妥当
農業基盤整備	経営体育成基盤整備	池田町	あいそめせいぶ 会楽西部	ほ場整備工 A=61ha 客土 A=55ha 用水路工 L=9,200m 排水路工 L=6,500m 農道工 L=12,300m	H30～H35	1,570,000	農地整備課	A	妥当
	中山間総合整備	朝日村	あさひ	ほ場整備工 A=38ha 用排水路工 L=400m 農道工 L=300m 活性化施設 N=1箇所 集落道 L=300m	H30～H34	1,200,000	農地整備課	A	妥当

事業の必要性、重要性、効率性、緊急性、計画熟度を点数化し、その合計により評価  
 [ 100点満点 A:75点以上 B:75点～50点 C:49点以下 ]

(注) 網掛：詳細審議箇所

### 3 県案が妥当とされた判断理由・審議上の意見

#### (1) 河川事業 (一) 岡田川 篠ノ井 (長野市)

- 当該河川の保全対象には多くの家屋、公共施設があるが、過去に複数回の浸水被害を受けていることから、周辺の土地区画整理事業と連携した河川整備を進める必要があると認められる。
- 千曲川増水時における岡田川樋門閉鎖に伴う内水被害を解消するためにも、排水機場の建設は喫緊の課題であると認められる。
- ◇ 実施事業計画段階において、砂防を含む上流事業との連携、維持管理がしやすい構造の検討、住民と協働した施設の維持管理など、総合的な維持管理計画を含めて検討されたい。



平成 18 年 7 月洪水

#### (2) 街路事業 (都) 環状北線 山寺～中央 (伊那市)

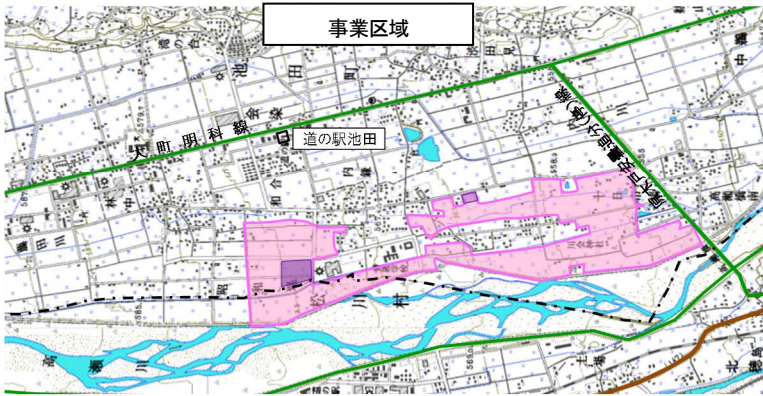
- 当該路線は、伊那市の都市構造を支援する内環状線の一部であり、当該区間を整備することにより、内環状線が完了し、その効果が発現することから、整備が必要である。
- 環状線を構成するとともに、将来的には伊那 IC から伊那バイパスまでを接続する主要なアクセス道路となることから、整備が必要である。
- ◇ 竜東線との交差において、渋滞が発生しないような構造を検討すること。
- ◇ 盛土量が多い箇所であり、土質の変更に伴う事業費の増とならないよう、地盤沈下対策、圧密対策など、計画段階で十分検討を行うこと。

#### 主要道路整備計画 説明図



### (3) 経営体育成基盤整備事業 会染西部（池田町）

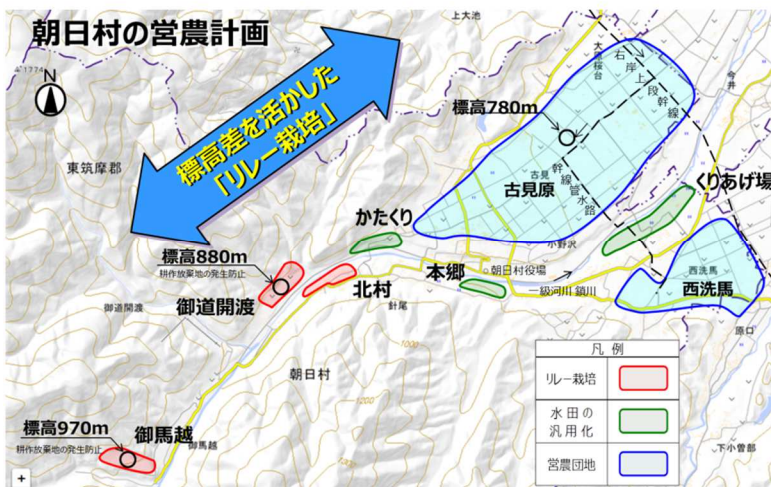
- 区画が狭小であり形状が異なる区画が混在していることや、道水路の整備が十分に行われていないことから営農に支障をきたしている農地を整備し、大区画化、汎用化して、地域で活動する営農組織や認定農業者への集積・集約化を進めることにより、地域農業の活性化に寄与するものである。
- 区画整理に併せ、計画地の一部を水稻からワイン用ぶどう等の高収益作物に転換させることにより、競争力の高い農業の実現が見込まれる。
- ◇ 事業実施にあたっては、将来の再区画整理にも配慮した設計を検討されたい。



整備後のイメージ

### (4) 県営中山間総合整備事業 あさひ（朝日村）

- 山間部の農地を整備し、特産であるレタス等の標高差栽培を実現することで、長期出荷による生産性の向上が見込まれ、地域農業の活性化が図れる。
- 後継者不足により耕作放棄地が増加している未整備の水田について、区画整理を行うことで、担い手農家への集積等が見込まれる。
- ◇ 現在の農村景観は観光財産にもなりえるため、他事業との連携を含め、これを活用した活性化の取組を検討されたい。
- ◇ 新規就農者も、就農給付金の準備型、経営開始型により増えてくると考えられるので、基盤整備を積極的に進めていただきたい。



朝日村の農村景観（整備済のレタス畑）

平成30年(2018年)2月7日

担当：建設部 建設政策課 技術管理室

(室長) 猿田吉秀

(担当) 増澤邦彦 加藤憲一 本藤美歩

電話：026-232-0111 (代表) 内線 3328

026-235-7294 (直通)

FAX：026-235-7482

E-mail：gijukan@pref.nagano.lg.jp

## 平成29年度 公共事業の事後評価結果について

公共事業について、事業完了後一定期間を経過した箇所の事業効果の発現状況や施設の維持管理状況などを検証する事後評価を行いました。長野県公共事業評価監視委員会による第三者評価結果は次のとおりです。

評価結果は、今後の事業の計画・調査・実施の検討などに活用していきます。

### 1 評価対象事業箇所

評価対象は、県が実施した公共事業で、事業完了後一定期間(5年を基本)を経過した箇所から、地すべり対策、治山・砂防、道路の整備、農業基盤整備など事業種類ごとに事業費の大きい箇所など10箇所を抽出して実施しました。

### 2 事後評価の審議結果

県が事後評価を実施した10箇所の中から3箇所を抽出し、詳細審議を行った結果、事業効果の発現状況や自然環境の変化などをまとめた「県の自己評価は妥当」とのご意見をいただきました。

#### 平成29年度 公共事業事後評価実施箇所一覧

事業名	箇所名 <small>カシヨ マイ</small>	市町村名	主な事業内容	事業期間	全体事業費 (千円)	担当課	県の 自己評価	評価監 視委員 会意見
地すべり対策	こまごめ 駒込	佐久市	集水井工 5基、集水・横ボ— リング工 L=11,300m、鋼管杭工 49本	H18~H23	1,006,000	砂防課	事業目的を 概ね達成	妥当
急傾斜地崩壊対策	さとみ 里見	小谷村	雪崩予防柵工 L=1,075m	H14~H23	832,944	砂防課	事業目的を 概ね達成	妥当
県営農村 地域防災減災 (ため池整備)	すくりたいら 須栗平	茅野市	ため池改修工 1箇所 (堤体工、波除護岸工、取水施 設工、余水吐工)	H21~H23	99,500	農地整備課	事業目的を 達成	妥当
山地治山	だひり 大日尻	辰野町	谷止工6個、床固工4個	H21~H23	184,496	森林づくり 推進課	事業目的を 概ね達成	妥当
水源地域等 保安林整備	にしほら 西洞	木曾町	谷止工9個、床固工4個、流路 工62m、本数調整伐37.29ha、 複層林誘導130.4ha	H19~H23	256,267	森林づくり 推進課	事業目的を 概ね達成	妥当
河川	しんとがわ (一)新戸川 いぬま 飯沼	飯田市	護岸工 L=140m	H18~H23	362,500	河川課	事業目的を 達成	妥当
道路改築	ごう (国)292号 とみくら 富倉バイパス	飯山市	L=3,910m、W=6.5(9.75~ 11.75)m、トンネル1カ所、橋梁 11橋	S60~H23	5,489,000	道路建設課	事業目的を 達成	妥当
街路	りゆうとう せん (都)竜東線 さかい 境	伊那市	拡幅改良工L=545m、 W=7.0(16.0)m	H21~H25	933,412	都市・ まちづくり課	事業目的を 達成	妥当
雪寒対策道路	ごう (国)406号 やま かみ 山の神	須坂市	推雪帯設置工 L=460m、W=6.0(9.5)m	H20~H25	346,372	道路管理課	事業目的を 概ね達成	妥当
県営畑地帯総合 土地改良事業	やまべ 山辺	松本市	農道 L=3,650m 畑地かんがい施設 59ha	H12~H23	1,589,186	農地整備課	事業目的を 達成	妥当

(注) 網掛：詳細審議箇所

事業効果の発現状況、事業実施による自然環境の変化、施設の維持管理状況、地域住民等の評価、改善措置の必要性、事業の主たる目的以外での地域社会への貢献状況を総合的に判断し、目的の達成状況を「事業目的を超えた達成」「事業目的を達成」「事業目的を概ね達成」「事業目的未達成」の4段階で評価

### 3 公共事業評価監視委員会からの主な意見

#### (1)地すべり対策 駒込(佐久市)

- 工事の施工に伴い、井戸枯れが発生するかもしれないということを、事前に地元住民等に丁寧に説明しており、実際に発生した際も地元で理解を得られた。今後も対策工事による影響について十分検討し、地権者等への丁寧な事前説明を徹底していただきたい。

↓施工前の被災状況



↓施工後の状況



↓集水井工



#### (2)河川 (一)新戸川 飯沼(飯田市)

- 維持管理にも視点をおいた事業の実施が大切であり、今回の事例を今後の事業に活かしていただきたい。観光県である本県は、景観や自然環境への配慮について、全国でもトップレベルの水準で事業を進めてほしい。河川管理等における地域の取組事例をPRする活動を進めていただきたい。

↓施工前の状況



↓施工後の状況



#### (3)県営畑地帯総合土地改良 山辺(松本市)

- 営農の合理化等が、主要作物の品質向上とブランド化につながっており、今後のなお一層の本事業の効果に期待する。希少動植物に配慮した工事を実施しており、今後の取組の参考にされたい。未改修の畑地かんがい支線管路等の整備に向けた検討を進めていただきたい。

↓施工後の状況



↓施工後の状況

